

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	令和 5 年度瑞穂町子ども・子育て会議（第 3 回）	
開 催 日 時	令和 6 年 3 月 1 4 日（木）午後 6 時 3 0 分から午後 7 時 4 5 分まで	
出席者及び 欠 席 者	【出席者】委員 9 名、事務局 6 名、コンサルタント 3 名 合計 1 8 名 【欠席者】委員 3 名	
次 第	1 開 会 2 会長あいさつ 3 議題 （1）第 2 期子ども・子育て支援事業計画の進捗状況等管理について （2）次期計画の進捗状況等管理票の様式の見直しについて （3）第 3 期子ども・子育て支援事業計画策定に伴うニーズ調査について 4 その他 5 閉 会	
傍 聴 者	2 名	
配 布 資 料	当日配布 ・ 次第 ・ 子ども・子育て会議事前意見等に対する回答一覧 ・ 他部署の進捗状況管理票【地域保健福祉計画等】 ・ 令和 6 年度 子ども・子育て会議のスケジュールについて ・ 第 3 期瑞穂町子ども・子育て支援事業計画策定に伴うニーズ調査報告書（集計データ修正後） 事前配布 ・ 令和 5 年度第 2 期瑞穂町子ども・子育て支援事業計画「進捗状況等管理票」 ・ 第 3 期瑞穂町子ども・子育て支援事業計画策定に伴うニーズ調査報告書（集計データ修正前）	
会 議 内 容 (主な意見 等を原則と して発言順 に記載。)	1 開 会 (会長) 2 あいさつ	本日の出席委員は 9 名である。瑞穂町の子ども・子育て会議第 7 条規定に基づき、半数以上の委員の出席により会議が成立となるため、開会する。 会長あいさつ 議題の（3）第 3 期子ども・子育て支援事業計画策定に伴うニーズ調査について、まず、回収率について気になる。40%を少し超える結果だったが、この数字を見て一体どのように考えるのか。 60%近くの方たちは、このアンケートに対して

	<p>3 議題</p> <p>(事務局)</p> <p>(会長)</p> <p>(委員)</p> <p>(事務局)</p> <p>(委員)</p>	<p>どのような気持ちで回答を寄せなかったのか、できるだけ回収率を上げるためにはどうしたら良いのか考えながら会議に参加する。</p> <p>(1) 第2期子ども・子育て支援事業計画の進捗状況等管理について</p> <p>事前意見等への回答について、資料「子ども・子育て会議事前意見等に対する回答一覧」のとおり</p> <p>事前質問への回答に対して、補足説明等を聞きたい方がいれば質問等を受け付ける。</p> <p>資料「子ども・子育て会議事前意見等に対する回答一覧」2ページ、「放課後児童健全育成事業（学童保育クラブ）」への質問について、「施設の整備を検討していきます。」とあるが、学校の空き教室等の利用について考えているか。</p> <p>学校の空き教室等の利用については、近年活用している自治体も多く、また、少子化によって比較的空いているスペースもあり、全国的に利用が増えている。一方で、瑞穂町の状況では、空き教室がなかなかないという学校もある。</p> <p>学校の教育の場を阻害しない中での学校内、または学校敷地内への移転を含めて検討している。</p> <p>学童保育クラブは各学校から離れており、子どもの移動があることで、危険度がすごく高くなるため、安全面を考えると、学校内に設置するのが一番なのではないかと思う。</p> <p>今後、放課後子ども教室との一体化ということを考えて、学校内の方が一番進めやすい。検討していただきたい。</p>
--	---	--

	(事務局)	<p>教育委員会と調整をしている。各学校の使用状況によって利用可能かの確認もしており、今後も教育委員会に働きかけをしていきたい。</p>
	(委員)	<p>全ての学校で同時に開始するのではなく、徐々に開始していくべき。</p> <p>実際に学校内での学童保育クラブ事業が開始されれば、他の学校も良いことだと理解してもらえらる。すべての学校で一斉に開始することは無理。</p> <p>現況で空いている教室や、近隣の土地等で事業を行ってもらえらると、今後、放課後子ども教室と学童保育クラブが一体化する際に、凄く良いと思っらるので、早急に考えらただけければと思っらる。</p>
	(副会長)	<p>資料「子ども・子育て会議事前意見等に対する回答一覧」10ページ「おひさまキッチン」について、2点ある。</p> <p>1点目は「資金的に厳しいという状況」であるということ。役場の方からは、紙コップ等の消耗品については、援助をしてもらっているが、実際子どもたちが食べているおにぎりやインスタントの味噌汁、バナナなど、こういっらものは子ども1人100円、大人は200円の参加料から賄っらっており、金銭的にとっらても厳しい。参加予定者が多く欠席してしまっらると、赤字になってしまっらる状況である。</p> <p>清水牧場さんや臼井農園さんによる食品の寄付等の支援があり、なんとか賄っらえているが、事業を継続していくためには、もう少し資金面で役場からバックアップがないと継続するのは難しいのではないかな。現在、おひさまキッチンでの食事は、育ち盛りの子どものには少ない量である。引き続き考えらしてほしい。</p> <p>2点目は、実際に困っらている方の声に対して、支援が届っらているかどうかについては知りたっらい。個人情報を出さなくてもいいが、事業を手伝っらている者</p>

		<p>としては、事業を実施する意味をより強く感じられるため、把握させるべき。</p> <p>(会長) 予算面においては、厳しい状況もあると思うが、良い事業なので、もう少し活性化できるように応援していただければと思う。</p> <p>(委員) 資料「第3期瑞穂町子ども・子育て支援事業計画策定に伴うニーズ調査報告書(集計データ修正前)」に、あまり使われていないような公民館があるのではないかという記述があった。「おひさまキッチン」は行ったことがないが、小学校に限定せずに、各公民館をまわってみて、このようなイベントができたらどうなのかと思った。この事業をもっと知って盛ろうこともでき、地域ごとの住民の様子も見ることもできる。</p> <p>また、瑞穂町へふるさと納税をしようと調べたところ、あまり良い返礼品がなかったのも、もし、瑞穂町で子ども事業に寄付を返礼品の代わりとして、ふるさと納税ができるようになれば、利用したいと思った。ふるさと納税の寄付先で「おひさまキッチン」事業等があれば、そこに寄付したいと思う。もし資金面が厳しければ、そのような方法もできたら良いと思った。</p> <p>(事務局) 「子ども食堂」というものがあり、実際学校の中で行い、ネグレクトのご家庭等関係なく、すべての生徒が対象。さらに、高齢者の方もボランティアの対象になっていて、ボランティアの方と子どもが集まって交流することがメインの事業である。交流の場で、虐待やネグレクト等について気にするような雰囲気は出さない。おひさまキッチンの案内もみんなが利用できるものとなっている。</p> <p>子ども家庭支援センターで、心配なご家庭には、事業の紹介をして参加を促すなどの方法での活用</p>
--	--	--

		<p>はしているが、その子どもが虐待されているからという雰囲気を出していかないような設定でこの事業を進めている。</p> <p>あくまでも、地域の交流の場という趣旨のもとで高齢者の方にも参加してもらっている、また、企業等からの寄付なども寄せられてきている事業である。基本的にはボランティアサークルの方が中心で行っていて、町は後方支援となるため、予算がどこまでつくかどうかは今後の課題である。民間の方の協力を得て、進めていきたい。</p> <p>(副会長) 実際、「おひさまキッチン」は色々な方と集まって、ほのぼのとした雰囲気で行っているため、できれば1人で食事をしている方(孤食)にも来てほしい。</p> <p>(事務局) 地域の方で、孤食の高齢者の方であれば、是非足を運んでいただいて、子どもたちから元気をもらっていただくような場にしたい。</p> <p>(会長) 「おひさまキッチン」のような良い取り組みを、皆でお互いに伝えあっていくと良い。それ以外の質</p> <p>(2) 次期計画の進捗状況等管理票の様式の見直しについて</p> <p>(事務局) 事務局では、次期計画の進捗状況管理票の様式について、委員の皆さんから頂いた意見及び、資料「他部署の進捗状況管理票」を参考に、実際の検討や変更を来年度の計画策定に合わせて実施したいと考えている。</p> <p>(会長) 今回、管理票の黄色(量の見込みと確保方策)とピンク(計画の体系)の資料について、色分けや進捗状況課題等の見方や評価法等の質問があった。そ</p>
--	--	--

		<p>れに対しての補足説明ということで、他部署の方の管理票も出ているため、質問や意見があれば発言していただき、次年度の会議でどうするか進めていきたい。今回の資料「子ども・子育て会議前意見等に対する回答一覧」1ページの子育て支援係の2つの項目及び、4ページの同じく子育て支援係の2つの項目に対する意見にもつながる。ここでなければ、次年度、相談しながら進めていくかたちでよいか。</p> <p>(事務局) 現在の進捗状況管理表について、エクセルで作成しているデータであり、冊子には令和5年度と令和6年度について表記されているが、過年度のデータが非表示になっていて、5年間の目標が印刷できる様式になっている。</p> <p>来年度、5年間の経過で進捗状況等も見えていただき、変化等も踏まえて5年間のおさらいをしていただきながら、次期の計画を決めていくという流れでこの資料を作っている。現在、一項目ごとに課題もすべて入力するようになっており、数値目標と行動目標が整理されていないため、どのような目標にするのか皆さんで考えていただき、ご意見いただいて見やすいものにしていきたい。新しい計画のための管理票、評価の仕方というのもご検討いただき、来年度の計画策定に向けて意識してほしい。</p> <p>(会長) 議題(3)へ</p> <p>(3) 第3期子ども・子育て支援事業計画策定に伴うニーズ調査について</p> <p>(事務局) 速報版として、事前に報告書案(集計データ修正前の資料)をお配りしているが、事務局にて内容を修正後、本日改めて「みずほまる」のイラストがついている最新版のもの(集計データ修正後の資料)をお配りしている。</p>
--	--	---

	<p>(コンサルタント)</p> <p>(事務局)</p> <p>(委員)</p>	<p>今回の策定で、業務委託をさせてもらっている(株)シティ・プランニング(以下コンサルタントと表記)の方から説明させていただきます。</p> <p>※資料についての説明</p> <p>今回の調査だが、「子ども・子育て支援法」の規定に基づく「子ども・子育て支援事業計画」を策定するための基礎資料として実施している。調査は2種類行っており、1つ目は「未就学児保護者用」の調査である。調査票は未就学児のお子さんがある全世帯882世帯に配布し、355通の回答があった。回収率は、40.2%。2つ目の調査が「小学生保護者用」の調査である。調査票は未就学児を含まない小学生のお子さんがある全世帯787世帯に配布し、327通の回答があった。回収率は、41.6%。全体では、1,669世帯に配布し、682通の回答があった。今回の報告書は、前回と同様に、分析などは掲載しておらず、あくまでも事実を報告するものとなっている。この結果をもとに来年度、計画を策定することになる。</p> <p>設問に対する答えをそのまま掲載している。内容については、事務局でもチェックしている。あくまでも事実をここに載せるだけ。これについては承知してほしいが、もしおかしい部分があれば、ご指摘をいただければと思う。また、計画策定の際には、これを用いることになるので、正確な数値等を掲載できるように急ぎ確認及び修正をする。</p> <p>資料「第3期瑞穂町子ども・子育て支援事業計画策定に伴うニーズ調査報告書(集計データ修正前)」44ページの「父親または母親」の部分について、無回答が89%、他のところでも無回答が8割超えているところがある。これは聞き方の問題もあると</p>
--	---	--

		<p>思うが、0日というのが、1番上にもし入っていたとするならば、何割ぐらいの人がいたのか気になった。78ページにおいても同様。ほとんど無回答のページがある。0日と無回答で違ってくるのではと感じる。</p> <p>(事務局) N(分母)がアンケートの回答者数を表記してしまっているため、無回答が多くなってしまっている。資料「第3期瑞穂町子ども・子育て支援事業計画策定に伴うニーズ調査報告書(集計データ修正後)」では、その分母を整理して、修正してある。主に、既に前の質問でこの質問に該当しない方は答えなくても良い方は排除した分母に修正した。前者では、すべて含めたかたちで表記していたため、無回答が多かった。</p> <p>(委員) 資料「第3期瑞穂町子ども・子育て支援事業計画策定に伴うニーズ調査報告書(集計データ修正後)」8ページの「1日あたりの就労時間」について、自分と同じ時間帯に自分と同様にフルタイムで勤務している人が多いのだなという印象があったが、自分の周りではあまりそのような人は見かけない。もしかして働いているお母さんの方が回答しているのではと感じる。回収率が40%となっているが、働いていない人が回答をしていない6割に入っているのではないだろうかと感じる。</p> <p>(会長) 挨拶で話したが、40%の回収率という中で、実際その数をどのように捉えるかということであるが、残りの60%の方々の様々な意見がなぜ出されなかったのか、またアンケートを提出した人はどのような世代の人だったのかという分析も大事なことだと思う。これがもし、70~80%の回収率であれば、ほぼ全ての意見を吸い上げていると受け取ることもできるが、今回はどうなのか。今回は、この</p>
--	--	--

		<p>調査結果から見えたこと、忙しい中で提出していただいた意見を皆さんの意見として進めていかなければならない。感想含めて何かあれば意見をお願いしたい。</p> <p>(委員) 私は、未就学児と小学生の子どもがいるが、未就学児の調査しか対象にならなかった。「未就学児」と「小学生」の両方を記入したかったが、それはできなかったのか。</p> <p>(事務局) そう言っていただける方が瑞穂町に多くなると良いと思う。子育て応援課以外でも色々なアンケートを取るが、「また家にアンケートが来た」という声を頂く。同じ課で両方のアンケートお願いしたときに「なぜ2つもあるのか」と疑問に感じるご家庭もある。そのようなことを言ってくれる人が多ければ、回収率も上がると思うが、双方の意見に配慮して、調整しながらアンケートを依頼している。</p> <p>(会長) 私も以前学校に勤めていて、学校の方でも児童数による学校評価のアンケートを取るのか、それとも家庭数による学校評価を取るのか、中学校でも同じようなアンケートを取るため、「またか」と思う部分もあるが、書いていただいくという葛藤がある。1人でも多くの方が自分の考えを書き、声を掛け合い、回答してくれる方が増えると良い。またアンケート調査の情報を積極的にSNS等も使えるような形で考えていければ良いと思う。他に感想や意見はあるか。</p> <p>(委員) アンケートを妻に答えてもらったが、紙で回答するのは大変。スマホで回答できると良いと、アンケートの自由記述にも意見を書かせてもらった。</p> <p>同じ時期に自分が勤めている保育園のアンケートで今まで手書きだったものを、Googleフォ</p>
--	--	--

		<p>ームを使ってスマホでできるようにしたら回収率が上がった。保護者からの意見の中でやはり紙とペンでの回答は、机等の上でやらなければならないが、スマホだと寝転がりながらでもできるのでお手頃という意見があるため、「答えやすさ」も回収率アップに繋がるのでは感じた。瑞穂町では「L o g o フォーム」を今後使っていけたら良いのではないか。</p> <p>（事務局） 「L o g o フォーム」という話が出たが、次年度についても、国から、子どもに直接意見をもらうためアンケート通達も来ているため、特に高校生、大学生あたり（一番意見を貰えない世代であるが）を対象に「L o g o フォーム」を活用していただくことを考えている。ちなみに、近隣市で、電子でのアンケートを実施したが、回収率は上がっていないと聞いている。理由については不明だが、瑞穂町でも、色々試してみないと回収率は上がらないので、試しながらやっていきたいと考えている。</p> <p>（会長） 2月の情報番組で子育てで幸せな町の取組として、千葉県八街市のマッピング化というどのようなニーズが変わるのかという特集をしていたが、アンケートの方法を含めて、どのような形だと意見を反映しやすいか考えていけると良い。</p> <p>（副会長） 本日、障がい者の親子の会というものがあり、そちらに出席をした。それに関連した意見で、報告書の自由記入のうち、小学生保護者の意見の「4. 医療について」で、「障がい児を育てています。」という方の意見が書かれている。この意見を含め特に困っている意見が多かったのが、「送迎の負担」であった。親も働いているため、送迎の負担はかなりのものである。来年度、子ども家庭センターでこのような問題について取り上げてもらえるのか。</p>
--	--	--

		<p>また、良いと感じたことは瑞穂の方で、徐々に障がい者の方に対する意見を取り上げていると感じたことだ。例えば今年度の1月に「障がい者福祉計画」の意見も募集されていたため、どんどん意見を挙げた方が良い。障がい者の方で就学前の方では、就学にあたっての不安もたくさんあると思うため、そのための説明会もあることから、町でも少しずつ対応が手厚なっているとの話もあった。しかし、送迎の負担はまだ解消されていないため、出席した者としてお伝えしたいし、子ども家庭センターで取り組んでいただけるようになってほしい。</p> <p>(事務局)</p> <p>子ども家庭センターが直接そのような送迎のご案内をすることはないと思うが、障がいのある児童への支援については、子ども家庭センターだけでなく、福祉課障がい者支援係も連携して考えている。縦割りではなく、横の連携もしっかりとしながら行っていくと同時に、福祉課の方でもかなり前に進めようとしているため、ご意見としていただきながら、どんどん進めていきたい。ただ、予算面の問題もあり、すぐにできる状況でも改善できるとは限らないので、町で情報共有をしていきたい。</p> <p>(会長)</p> <p>議題4へ</p> <p>4 その他</p> <p>(事務局)</p> <p>第2期瑞穂町子ども・子育て支援事業計画の中で、「新・放課後子ども総合プラン瑞穂町行動計画」を別冊で盛り込ませているが、今年度で終了になる。「放課後子ども教室」等の補助金の要件として計画を策定したが、その要件が、新型コロナウイルス感染症の影響等で受け皿の確保という面で（国でいうと150万人分の受け皿）放課後の子どもの居場所を確保する目標を掲げていたが、達成が困難な状況</p>
--	--	---

		<p>になったので、軌道修正することとなった。この計画は終わるが、国の方で「放課後児童対策パッケージ」を作り、令和5年度と令和6年度で内容をまとめたものがあるため、その2か年は実施することになる。一方、この計画は、令和6年度から1年間に計画の策定はしない予定だが、国の「放課後児童対策パッケージ」に沿って、瑞穂町では進めていく。令和7年度には、新しい計画を盛り込んでいきたいという社会教育課の意向もあるため、令和6年度に皆様からの意見をいただきながら、新たな計画として盛り込んでいきたい。</p> <p>「放課後児童対策パッケージ」については、「学童保育クラブ」と「放課後子ども教室」の一体化の話もあり、先ほど意見があった「学校の活用」も踏まえて、進めていくような話でもあるため、それに沿って1年間進めていきながら、皆様に次期計画策定に向けてご意見を伺いたい。</p> <p>(会長) 資料の方では、令和6年度、第8回まで会議があるので、その中で計画的に話し合いができるとうい。</p> <p>(事務局) 来年度のスケジュールをお配りした。来年度は子ども計画の策定もあるので、8回の会議を設定している。会議の日程については、事前にお知らせする。</p> <p>定員変更について、松濤幼稚園の利用定員が25名から15名に変更となる。</p> <p>また、子ども計画の策定の話があったが、今回調査したのは、「子ども・子育て支援事業計画策定に伴うニーズ調査」である。前回の会議後に、国も動きがあり、「子ども計画」を策定することになっている。その中で「子ども・子育て支援事業計画」や「子ども若者計画」なども含めて計画を策定する予定である。</p>
--	--	---

	<p>(会長)</p> <p>5 閉会</p> <p>(副会長)</p>	<p>色々な言葉が出てきて、混乱しているが、しっかりとした形で読みやすい書面をお願いしたい。それでは、最後に閉会に移る。</p> <p>本日が令和5年度の最終の会議であった。令和6年度では、会議の回数が多いため、顔を合わせる機会が増えるのではないかと感じる。それぞれの立場が色々あると思うが、是非この機会、この時間での交流において、また改めて皆様と意見を交わしながら、良い方向に進みたい。</p>
--	--------------------------------------	--